

平成24年度12月補正予算の概要及び主要施策

I 12月補正予算（一般会計）『6億円』を計上

12月補正予算の編成に当たっては、厳しい財政状況を踏まえて9月の補正予算後、新たに緊急性かつ必要性の認められる事業を実施するため、一般会計では6億円の補正予算を編成する。

《平成24年度一般会計予算》

◇当初予算 151億5,000万円（対前年度6億円 4.1%）
◇6月補正予算 4,300万円
◇9月補正予算 1億5,000万円
◇11月補正予算 2,320万円（11月19日専決処分）
12月補正予算 6億円
予算総額 159億6,620万円（対前年度同月 2億7,020万円 1.7%）

（参考）前年度同月：156億9,600万円

《12月補正予算編成上のポイント》

- 除雪による冬季積雪時の町内生活道路等への安全確保
- 壬生小学校新築工事など教育環境の整備及び夢まなびプランの推進
- スノーフェスティバル in 北広島の開催及び郡内の「小規模公立高校連携」によるスキー教室への補助による冬季スキーの活性化対策
- 肥育素牛の導入補助による北広島町産和牛のブランド化
- 4種混合ワクチン接種及び集団健診の推進による健康増進の拡充

II 12月補正予算の規模等

1 歳入歳出規模

（単位：万円、%）

区 分	当初予算額 A	前回補正額 B	12月補正額 C	累計額 D (A+B+C)	対当初予算比 D/A	
	一般会計	1,515,000	21,620	60,000	1,596,620	105.4
特別会計	国民健康保険	223,200	5,000	3,100	231,300	103.6
	下水道事業	69,800	1,800	—	71,600	102.6
	農業集落排水事業	35,400	200	—	35,600	100.6
	介護保険	234,200	930	17,160	252,290	107.7
	簡易水道事業	30,900	300	0	31,200	101.0
	電気事業	4,690	490	—	5,180	110.4
	芸北財産区	120	—	0	120	100.0
	診療所	17,400	▲480	—	16,920	97.2
	情報基盤整備事業	42,100	1,300	650	44,050	104.6
	後期高齢者医療	27,480	90	—	27,570	100.3

※前回補正額Bは、6月・9月・11月補正予算額を示す。

Ⅲ 平成24年度12月補正予算「主要施策等一覧表」 ※1~5: 事業説明資料の添付

一般会計

●安全で快適な生活環境づくり		1億6,100万円	補正額(万円)	予算書(頁) 一般会計
道路維持修繕事業	・ 町道除雪費		13,000	18
国・県道維持修繕事業	・ 国・県道除雪費(権限移譲分)		3,100	20
●子育て支援と教育の充実・強化		1億648万円		
壬生小学校整備事業※1	・ 壬生小学校新築工事設計監理委託・壬生小学校校舎等新築工事		10,648	24
●定住と交流の拡大		595万円		
冬季スキー活性化対策事業(※2-1・2-2)	・ ひろしま雪山誘客促進協議会負担金 ・ スキー教室補助金事業		160	16
新規定住促進事業	・ 若者定住促進住宅建設(志路原)・追加工事		435	4
●活力ある地域経済の創出		1,027万円		
畜産振興事業※3	・ 肥育素牛導入事業補助		27	14
農業振興事業	・ 農業体質強化基盤整備促進事業 暗渠排水工事(国の緊急対策)		1,000	14
●安全・安心なまちづくり		851万円		
予防接種事業※4-1	・ 4種混合ワクチン接種の追加		113	10
集団健診事業※4-2	・ 集団健診委託料の追加		148	12
生活用水取水施設整備事業	・ 生活用水取水整備補助の追加		590	10

●その他		2億7,686万円	補正額(万円)	予算書(頁)
自立支援給付事業※5	・ 自立支援給付費の追加		2,330	8
電子計算組織管理運営事業	・ 地域イントラネット更新作業		2,325	2
財政調整基金費	・ 財政調整基金積立金		20,000	28
予備費	・ 大雪対策費、補正調整ほか		3,031	27

壬生小学校整備事業

1. 目的

現壬生小学校校舎は昭和 49 年に建築しているが、平成 14 年の耐力度調査により危険校舎であることが判明した。壬生小学校を現地に建築することの地域理解が得られたため、平成 24・25 年度で危険校舎改築事業を実施する。このことにより、長年の雨漏りや図書室未整備の解消を図る。

北広島町は「きたひろしま・夢・まなびプラン」に基づき、学校統廃合による複式学級の解消を目指している。千代田地域においては、壬生小学校と南方小学校の統合について協議した結果、地元理解を得たため、改築後の壬生小学校は統合校舎と整備し、南方小の複式学級の解消を図る。

2. 概要

○校舎工事：校舎 木造二階建（一部RC造）

延床面積 3,057.5㎡(1階1,639㎡ 2階1,418.5㎡)

○附属建屋工事：小学校体育倉庫棟 ○外構工事：来校者用駐車場（48台分）

○解体工事：校舎棟、水泳プール、園舎棟

※改築工事期間中の教育環境を確保するため、現南方小学校校舎を仮校舎として使用することとする。今年度中に南方小学校の改修工事を施工し、新年度からの児童受入を行う。

3. 補正予算概要

(単位：千円)

事業名	全体事業費	負担割合		内 容
		事業費		
		H24	H25	
壬生小学校 校舎等新築工事	1,046,850	10%	90%	小学校新築本体工事
校舎等新築工事 設計監理委託	18,031	10%	90%	壬生小学校新築工事監理業務
合 計	1,064,881	106,488	958,393	

4. スケジュール

H25.1 一般競争入札公告（初旬） H25.2 仮契約、本契約（中旬）

H25.3 壬生小卒業式、修了式終了後校舎内物品等を南方校舎に引越し、その後解体工事開始（下旬） H25.3 南方小学校閉校

H26.3 新築工事完成、南方校舎から引越し、新校舎で卒業式（下旬）

5. 事業効果

○危険校舎の解消を図ることができる。

○南方小学校の複式学級の解消を図ることができる。

※12月補正財源内訳

国支出金 101,672千円・地方債 4,800千円・一般財源 16千円

ひろしま雪山誘客促進協議会負担金について

1 事業目的

ひろしま雪山誘客促進協議会は、広島県北部の冬季観光客誘致及び地域の活性化に資することを目的とする。

2 事業概要

- (1) 雪山を中心とした冬季観光客誘致に向けた方策の調査・研究
 (2) 上記検討に基づいた体験メニュー、賑い創出に資するイベント、魅力PR等の実施

3 構成団体

広島県, 北広島町, 安芸太田町, 廿日市市, 庄原市

4 収支予算

	項 目	金 額 (円)	備 考
収入	負担金	1,300,000	北広島町
		1,000,000	安芸太田町
		2,300,000	広島県
	合計	4,600,000	
支出	イベント・PR	3,540,000	北広島町 2,000,000
			安芸太田町 1,540,000
	調査・研究	1,000,000	雪山に関するニーズ調査
	事務費	60,000	振込手数料等
	合計	4,600,000	



「スノーフェスティバル in 北広島」について (案)

【主旨】 スノーフェスティバル in 北広島は、北広島町の冬の魅力を発信するとともに、スノースポーツの普及、冬季観光の振興、地域の活性化を図ることを目的として実施する。

【主催】 スノーフェスティバル in 北広島実行委員会

【開催日】 平成25年2月9日(土)・10日(日)

【開催場所】 ユートピアサイオト

【実施内容】

- ・子ども&大人 アルペンスキー大会
- ・西日本サーキット「DREAMGAMES」※スノーボードアルペン競技
- ・トップ選手による特別レッスン等の交流事業(スキー、スノーボード)
- ・飲食ブースなど

【事業費】 2,000 千円

※12月補正財源内訳 一般財源 1,300 千円

スキー教室補助金事業

1 事業目的

千代田高校・加計高校芸北分校・加計高校の3校での「小規模校連携」によるスキー教室は、3校の小規模校連携によるメリットを活かすことや将来のスキー人口の拡大、利用促進に繋がるため、スキー教室経費の一部を助成する。

なお、スキー教室の開催意義は次のとおりである。

(意義)

- ① スキー産業は、冬季における地域の貴重な観光資源でありビジネス資源でもある。スキー教室においての生徒の体験・見聞は、観光資源を理解し今後の地域振興を図るうえにおいて重要である。
- ② 小規模校連携によるスキー教室は、スキー技術の習得のみでなく、それぞれのレベルに応じて楽しみの幅を広げることができるとともに、生徒同士の交流は、深い友情を育む機会となる。
- ③ スキー教室を通じて、安全や危険な事項について理解し、人生を豊かにするための仲間とのふれあい、地域とのよい関係についての事項や余暇活動について学習する場とする。

2 開催内容等

【開催予定日】 平成 25 年 2 月 15 日 (金)

【開催場所】 恐羅漢スノーパーク

【生徒一人当たりの予定経費】

リフト券	2,000 円
スキーレンタル	500 円
ウェアレンタル	500 円
インストラクター	1,000 円
食事	実費
バス代	実費

【広島県からの生徒一人当たりの助成金】

インストラクター 500 円及びバス代の一部 (助成予定)

【参加人数】

学 校 名	1 年 生	2 年 生	小 計
千代田高校	55 名	56 名	111 名
加計高校芸北分校	18 名	30 名	48 名
合 計	73 名	86 名	159 名

3 助成額

リフト券購入相当分 2,000 円 (一人当たり) **補助金額 318 千円**

※12 月補正財源内訳 一般財源 318 千円

肥育素牛導入事業補助金

1 事業目的

「町内生まれの町内育ち健康で安心な」北広島町産和牛のブランド化を目指し、肥育農家における和牛経営の安定並びに繁殖農家における肥育素牛の販売及び改良増殖の促進を図るための補助制度を創設する。

2 事業概要

現在、町内の繁殖農家が生産した肥育素牛が、町外へ流出している状況である。このため、三次家畜市場において購入した場合の経費の一部を、町内肥育素牛購入平均頭数に対して支援をおこない、町内産優良子牛を保留して肥育・出荷することにより、より良い肉質等のデータが繁殖農家へ反映させ、繁殖農家の優良子牛の生産・改良を促進する。購入した牛が肥育牛となり、出荷されるのは2年後の予定。道の駅オープンに合わせて北広島町ブランド認定牛については販売を進めていく。

3 事業内容

- 補助の対象となる肥育素牛は、町内の畜産農家が生産した黒毛和種子牛で全農広島県本部三次家畜市場の子牛セリ市場での購入牛。
- 補助金の交付対象者は、町内に住所を有する畜産農家。
- 補助金の額は、補助対象牛1市場、1頭当たり3万円以内。
- 肥育素牛導入事業補助金 270千円（12月補正）
30,000円×3頭×3市場（1月～3月）

4 北広島町ブランド牛に向けての展開

※北広島町ブランド牛

町内で生まれ町内の豊かな自然に恵まれ、健康に育った牛

○ブランドの定義

- ・品 種：黒毛和種（雌の未経産牛）
- ・出 産 地：北広島町
- ・肥 育 地：北広島町
- ・出荷月例：24ヶ月以上
- ・肉質等級：3等級以上
- ・そ の 他：北広島町技術者部会が審査し、認めるもの

※生産から流通・販売までの一貫体制の構築

ステップ 1

【生産体制の確立】

町内繁殖農家及び肥育農家に対し、町の支援を行う。

- （優良保留牛育成事業）繁殖農家への支援
- （肥育素牛導入事業）【新規】肥育農家への支援

【ブランド牛の加工】

Aコープとの連携により、道の駅がブランドの定義に基づく指定肥育農家の出荷した牛の肉を指定買いし、精肉・パック詰めまでAコープ千代田店で加工を行う。（1/2 部位/月）

【ブランド牛の販売】

Aコープ千代田で加工された町内産肉を道の駅（レストラン含め）で「町内生れの町内育ち健康で安心な」北広島ブランド牛肉として販売する。

繁殖農家の改良促進
経営安定・向上



ステップ 2

【販売戦略・販路拡大】

壬生の花田植が世界無形文化遺産に登録されたことも含め、町内で生れ町内の豊かな自然に恵まれ、健康に育った安全・安心なおいしい北広島町産ブランド肉を道の駅のイベントや出張産直、壬生の花田植え等でPRを行い、消費者の評価を検証し、認知度を高め、販路拡大し、バリューブランドの確立を図る。



ステップ 3

【ブランド牛の確立】

販路拡大・販売増に伴い、改良された町内生れ町内育ちで、ブランドの定義に基づく牛を認定し、将来的に町内全ての牛を改良促進させ、北広島ブランド牛として認定する。

肥育素牛の町外流出防止

【工程】

	平成 24 年度					平成 25 年度以降					
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
生産体制						優良保留牛育成事業					
生産体制						肥育素牛導入事業					
加工	加工の連携協議					加工					
認定・販売						販売					

※ 1 2 月 補正財源内訳 一般財源 270 千円

予防接種（4種混合ワクチン）事業

1 事業の目的

予防接種実施規則の改正により、平成24年9月1日から生ポリオワクチンの定期予防接種は中止され、不活化ポリオワクチンの定期予防接種が導入された。また11月1日より不活化ポリオワクチンを含む4種混合ワクチンが、接種開始となったため、予防接種委託料の補正を行ない、予防接種事業を円滑に実施する。

2 事業の位置づけ

4種混合ワクチンの導入により、従来、DPT4回、不活化ポリオワクチン4回接種が、4種混合ワクチン4回接種で済み、予防接種回数の軽減につながり、健康で安心して暮らせるまちづくりの一環として、子育て環境の充実が期待できる。

3 平成24年度事業の動向

- 4月27日 単独の不活化ポリオワクチン薬事承認
 - 6月1日 9月1日から不活化ワクチンに一斉切り替え厚生労働省通知
 - 7月20日 4種混合ワクチン薬事承認 ※
 - 7月30日 予防接種実施規則改正
 - 9月1日 単独不活化ポリオワクチン接種開始（生ポリオワクチン接種廃止）
 - 9月18日 予防接種実施要領改正（4種混合ワクチン導入）
 - 10月23日 予防接種実施要領改正（単独ポリオワクチン追加接種（4回目）導入）
 - 11月1日 4種混合ワクチン接種開始
- ※DPT（百日せき・ジフテリア・破傷風）に不活化ポリオを加えた4種混合ワクチン

【対象者】平成24年11月1日基準

平成24年度4種混合ワクチン接種対象者	対象者数	備考
平成24年8月1日～11月30生まれ	40人	8月から9月生まれの子は3回。11月生まれの子は2回接種見込み。

※12月以降の生まれの子の4種混合ワクチン接種委託料は平成25年度予算の対象。

【接種回数】 4回

4 補正予算の内容

予防接種委託料（4.1.2.140.001.13.51）

（接種委託料） 1,126千円（30人×3回+10人×2回）×10,230円）

（補正前予算） 44,260千円

（補正後予算） 45,386千円

※12月補正財源内訳 一般財源 1,126千円

集団健診事業委託料

1 事業の目的

町民の健康増進を目的とし、20歳以上の町民の健康診査を行なうため、健診車による集団健診を町内22会場で実施した。集団健診においては、がん検診を同時実施することにより、国民の死亡原因として最も多いがんの早期発見、早期治療に結びつけ、もって、医療費の削減効果を目的とする。

2 事業の位置づけ

平成24年度においては、健診受診率の向上と、より受診し易い環境づくりを図るため、委託健診機関を変更し、骨密度・腹部超音波検査を新たに追加した。また、11月に実施した追加健康診査・がん検診においては、それまでの1会場2日から、3会場4日に実施日を拡大し取組んだ。

3 平成24年度集団健康診査実施状況

(人)

検診項目	受診者数 (見込み)	検診項目	受診者数 (見込み)
国民健康保険 特定健診	945	後期高齢者 基本健診	1,120
20～39歳 特定健診	73	社会保険 被扶養者	145
肺がん	1,457	胃がん	861
大腸がん	1,508	子宮がん	437
乳がん	512	肝炎ウイルス	135
前立腺がん	570	胃ペプシ	422
結核	630		
骨密度	664	腹部超音波	113

※ 当初予算において健康診査費における集団健診委託料（4.1.5.146.001.13.54）23,283千円を計上していたが、集団健診受診者数が2,507人（平成23年度比較153人増）になり、中でも、後期高齢者の受診者増に伴う基本健診・結核検診の増、また、がん検診における大腸がん検診等の増により、今年度24,763千円の集団健診委託料が見込まれる。

4 補正予算の内容

(集団健診委託料当初予算)	23,283千円
(平成24年度集団健診委託料見込み)	24,763千円
(12月補正予算)	1,480千円

※ 12月補正財源内訳 一般財源 1,480千円

自立支援給付事業

1 事業目的

障害者自立支援法に基づいた社会保障サービスで、障害の種別（身体障害・知的障害・精神障害）にかかわらず、障害者が安心して地域で暮らせる社会を目指し、地域生活と就労を進め、自立を支援する観点から障害のある方が必要とする福祉サービスを提供する。

2 事業内容

自立支援給付は、介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具で構成される。サービスの内容により、国による「障害福祉サービス」と市町村による「地域生活支援事業」の二つに分かれて提供される。

● 補正内容

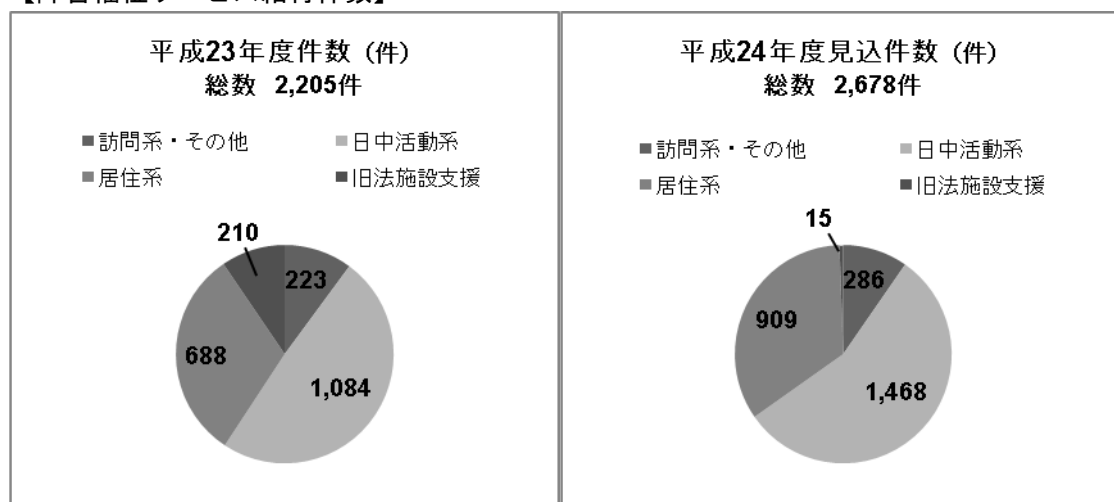
制度改正等の影響により、障害福祉サービスの給付費とそれに関連する給付費が増加したため補正を行う。増加の要因として、旧体系の施設が新体系へ移行した関連の法改正に伴うサービス種別の件数の増加と、全体的な利用者の増加が考えられる。

【自立支援給付費】

(単位：円)

	H23 年度実績		H24 年度予算		H24 年度見込		補正額	
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額
障害福祉サービス	2,205	271,268,036	2,508	306,668,400	2,678	327,665,400	170	20,997,000
特定障害者特別給付費	693	8,860,479	588	8,379,000	922	9,312,200	334	933,200
療養介護医療	0	0	72	5,659,200	96	6,125,800	24	466,600
地域生活支援事業	304	14,917,560	216	8,448,000	252	9,381,200	36	933,200
合計	3,202	295,046,075	3,384	329,154,600	3,948	352,484,600	564	23,330,000

【障害福祉サービス給付件数】



※ 1 2月補正財源内訳

国支出金 12,164 千円・県支出金 6,082 千円・一般財源 5,084 千円